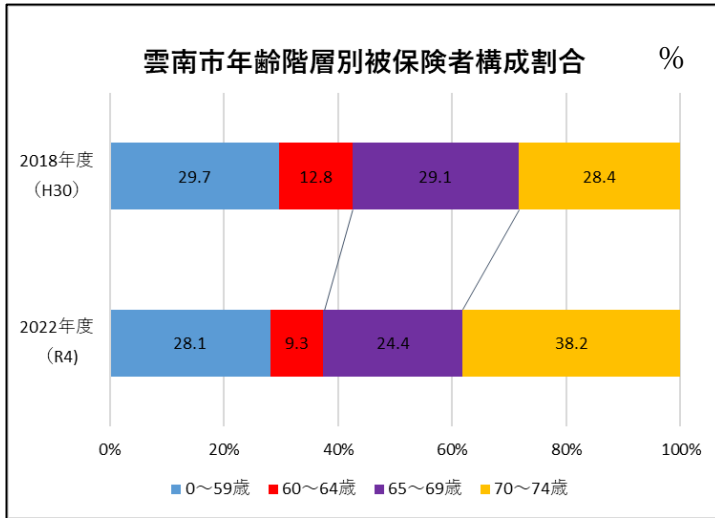


第2期雲南市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画) 第4期雲南市特定健診等実施計画【概要】

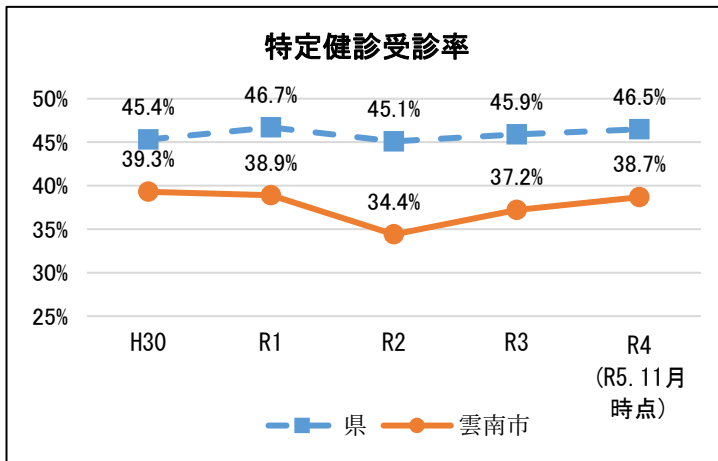
雲南市国民健康保険（以下国保）の被保険者の健康保持増進に努めるため、医療費の状況や統計資料等を活用し、啓発から重症化予防まで戦略的に保健事業を進めていくことが求められています。第1期計画の評価や医療費等のデータ分析から課題を抽出し、被保険者の更なる健康維持増進を図るために、第2期データヘルス計画を策定しました。本計画に基づき、保健事業を実施し評価を行っていきます。

【雲南市の現状】



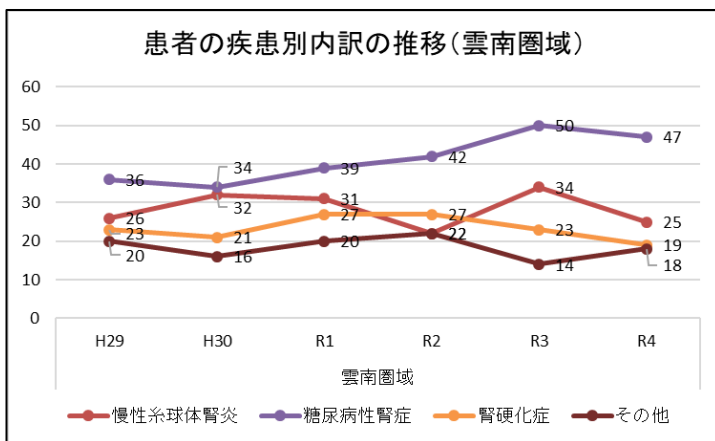
<出典 島根県国民健康保険団体連合会>

国保加入率(18.3%)は年々減少しています。令和4年度の年齢階層別被保険者割合をみると、65歳～74歳の被保険者割合が高く60%を超えています。



<出典 進捗・実績管理票>

特定健診の受診率は増加しましたが、依然目標(40%)には達していません。未受診者の6割が「生活習慣病で定期通院をしている」ことがわかりました。



<出典 令和4年度人工透析実施状況調査※受療地別データ>

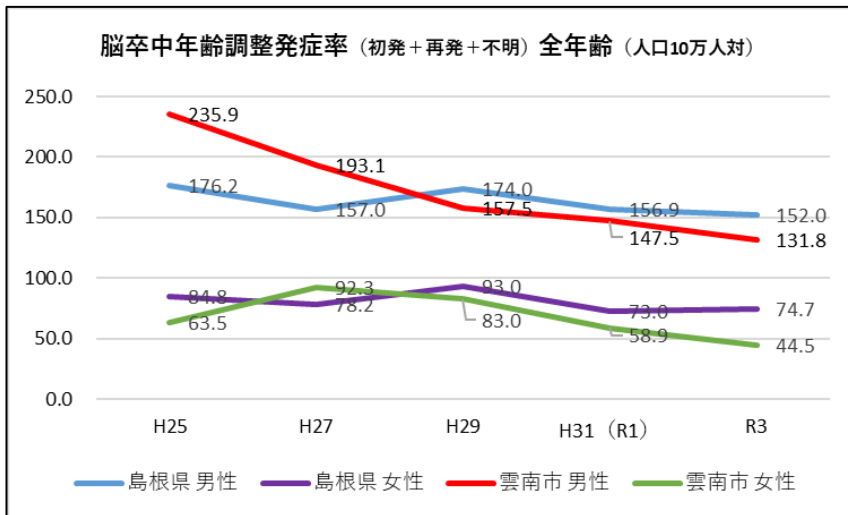
人工透析により更生医療を受けている方は男女ともに70歳代が最も多く、次いで60歳代です。透析患者の疾患別内訳では糖尿病性腎症が最も多いです。

【1期計画の評価（計画期間：平成30年度～令和5年度）】

第1期計画においては、中長期目標を『脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率を減らす』『糖尿病性腎疾患の発症を減らす』『国民健康保険1人当たり医療費の上昇を抑制する』とし、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指しました。

目標			実績値				評価
指標	目標値	ベースライン (H28)	H30年度	R1年度	R2年度		
脳血管疾患年齢調整死亡率（全年齢）	男性	抑制する	28.7	35.1	32.2	21	改善
脳血管疾患年齢調整死亡率（全年齢）	女性	抑制する	21.2	22.4	13.9	11.8	改善
虚血性心疾患年齢調整死亡率（全年齢）	男性	抑制する	13.1	11.1	14.1	12.4	変化なし
虚血性心疾患年齢調整死亡率（全年齢）	女性	抑制する	3.5	2.6	3.8	3.4	変化なし

目標		実績値				評価
指標	目標値	ベースライン (H28)	R2年度	R3年度	R4年度	
糖尿病性腎症の発症数	抑制する		237人	226人	218人	改善
国民健康保険1人当たり医療費の上昇	抑制する	458,934円	488,877円	503,846円	503,261円	悪化



<出典 脳卒中発症状況調査>

脳血管疾患の年齢調整死亡率は減少、虚血性心疾患は変化なし

これまで最も多かった循環器系疾患医療費が減少し、脳卒中発症率も低下しました。

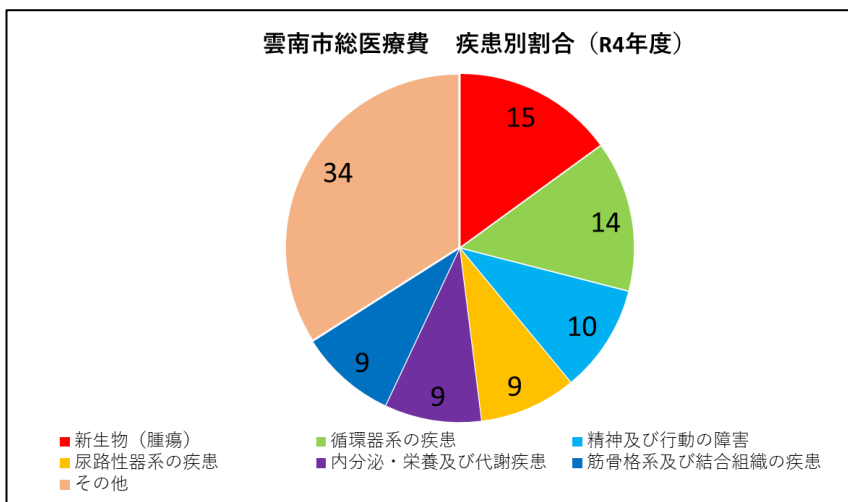
脳卒中予防・高血圧対策に重点を置き、地域自主組織や地域人材と連携した減塩啓発等の取り組みも一助となっているものと考えます。

糖尿病性腎疾患の発症数は減少

糖尿病・CKD 対策検討会議等において医療機関と連携し対策を推進しました。

1人当たりの医療費は増加

国保人口の高齢化により1人当たり医療費が伸びています。疾患別内訳は新生物（腫瘍）、循環器系の疾患、精神及び行動の障害の順に割合が多くなっています。



<出典 Focus システム>

【2期計画の目的と目標】

目的 被保険者の健康増進と健康寿命の延伸を図り、国保の医療費適正化を目指す
 目標 65歳平均自立期間の延伸 新規人工透析患者数の減少
 脳卒中発症率の減少 全がん年齢調整死亡率の減少

指標	ベースライン	目標値 (R11)
65歳平均自立期間 (5年平均・男性)	18.81 (H28~R2)	19.11
65歳平均自立期間 (5年平均・女性)	22.24 (H28~R2)	22.57
新規人工透析患者数	6 (R3)	0
脳卒中発症率 (全年齢・男性)	131.8 (R3)	110
脳卒中発症率 (全年齢・女性)	44.5 (R3)	35
全がん年齢調整死亡率 (全年齢・男性)	140.5 (H28~R2)	135
全がん年齢調整死亡率 (全年齢・女性)	75.5 (H28~R2)	70



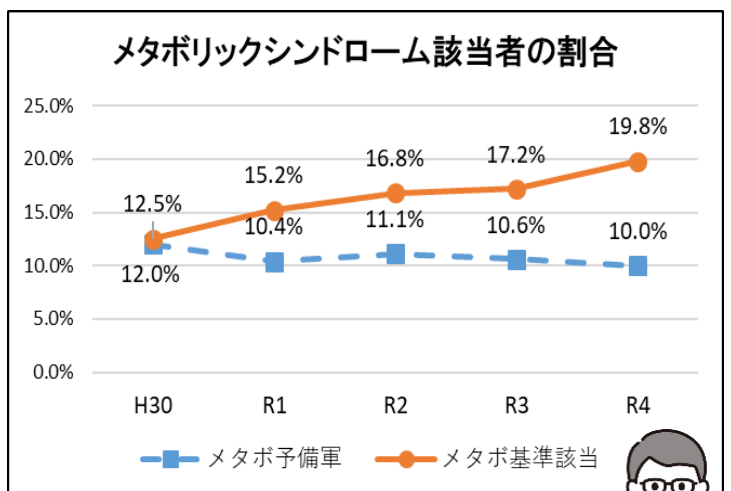
【課題と取り組み】

課題1：効果的な受診勧奨等により特定健診の受診率向上対策に取り組む必要があります

- ・受診しやすい環境を整えます (スピード特定健診・がん検診とのセット・次年度予約)
- ・無関心層を受診につなげるためのインセンティブ付与を検討します
- ・国保加入時の受診勧奨や年度内国保加入者へ受診券を送付します
- ・特に「生活習慣病で通院中」の方を受診へつなげるため、医療機関と連携を図り、治療中の対象者へ健診実施等をすすめます

課題2：メタボリックシンドローム該当者へ病態説明ならびに生活改善につながる指導を行い、生活習慣病の発症を予防する必要があります

- ・特定保健指導該当者には集団健診会場で健診当日に特定保健指導を実施します
- ・特定保健指導チラシを作成し、医療機関から保健指導の利用を促します
- ・特定保健指導非該当であっても、適宜必要な方へ保健指導を行います
- ・保健指導の質を高めるため、積極的に研修に参加し効果的な保健指導実施に努めます
- ・引き続き雲南市立病院において特定保健指導を実施します



<出典 特定健診等データ管理システム_FKAC167>



課題3：糖尿病性腎症の高リスク者を早期から支援し、人工透析への移行をくいとめる必要があります

- ・雲南市糖尿病・CKD 対策検討会議等において課題共有と対策事業の検討を行います
- ・医療機関訪問により雲南圏域 CKD フォロー体制を周知し、併診を促進します
- ・雲南圏域 CKD フォロー体制を運用し、精密検査発行者の返信状況確認、レセプト確認を行い、未受診者を減らすとともに保健師等による保健指導を実施します

CKD：慢性腎臓病のこと。腎臓の働き（eGFR）が健康な人の60%未満に低下するか、あるいはタンパク尿が出るといった腎臓の異常が続く状態をいいます。

雲南市糖尿病・CKD 対策検討会議：糖尿病の発症予防ならびに適正管理と重症化予防により、CKD・脳血管疾患・虚血性心疾患の発症および人工透析への移行を防ぐこと等を目的に市内医療機関の医師や雲南保健所、雲南市等により検討を実施しています

課題4：重症化疾患である脳血管疾患や虚血性心疾患を予防するため、生活習慣の改善のための知識を広く市民に伝えていく必要があります

住民ボランティア等と連携し効果的な減塩に取り組む必要があります

- ・食塩の過剰摂取、肥満、飲酒、運動不足等不適切な生活習慣の改善に向けた取り組みについて啓発します
- ・地域自主組織、食生活改善推進員、地域運動指導員等と健康課題を共有し生活習慣病予防の協働した取り組みを行います
- ・家庭で調理を担う方をメインターゲットとし、様々な機会を通じ減塩に関する啓発を行います
- ・定期的な健診受診の必要性、脳卒中予防、高血圧予防、減塩対策をテーマに出前講座を実施します
- ・島根大学との共同研究事業により健康調査や通いの場等でのデータを分析し、具体的な地域への啓発・展開方法を検討します



課題5：がん検診の受診率および精密検査受診率を向上させることで、がんの早期発見・早期治療につなげることが必要です

- ・委託医療機関の拡大や休日がん検診、セットがん検診の実施により受診しやすい環境を整えます
- ・個別通知による受診勧奨を強化します
- ・地域自主組織と協働した大腸がん検診の取り組みを継続します
- ・精密検査の該当となった場合には、必ず精密検査を受診するよう健康教育を行います
- ・がん検診の精密検査未受診者を対象に、受診勧奨および受診状況調査を実施します

第2期雲南市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）

第4期雲南市特定健康診査等実施計画の詳しい内容は、雲南市ホームページをご覧ください。

計画期間：令和6年度～令和11年度

発行 雲南市役所 市民生活課（0854-40-1031）保健医療介護連携室（0854-40-1095）

